

案件概要書

2023 年 12 月 19 日

1. 基本情報

- (1) 国名：パキスタン・イスラム共和国（以下、パキスタンという。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：パンジャブ州ムルタン県
- (3) 案件名：南パンジャブ地域小児保健医療施設拡充計画（The Project for the Extension of Child Health Care Facilities in Southern Punjab）
- (4) 計画の要約：本計画は、パンジャブ州ムルタン県のムルタン小児病院において、ハイリスク新生児・小児に対する診断・治療に必要な施設及び医療機材の整備を行うことにより、同病院における診断・治療体制の強化及び災害拠点病院としての機能向上を図り、もって小児保健医療サービス全体の質の向上及びパキスタンにおける人間の安全保障の確保と社会基盤の改善に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

7 月の日パ外相会談において、近年日本が注力している分野として保健に言及し、パキスタンの人々に寄り添った着実な支援を行っていくことを我が方から先方に伝達済みであるため、右方針に従った本件実施は我が国への信頼を確固たるものとし、二国間強化に資する。（2021 年 8 月のアフガン邦人退避、2023 年にトルコ地震で NATO 連携の際に自衛隊が活動拠点を置くなどの協力的な関係構築に資している。）

地政学的に重要なパキスタンに対して、中国 CPEC 大型インフラ案件との差別化を図り、北（イスラマバード）と南（ハイデラバード）の拠点病院を日本が支援してきた実績と国内認知度が上がりつつある中で、今回中間地点のムルタンで防災拠点としても機能している拠点病院を整備することは、パキスタンでの病院案件を日本のフラッグシップとして確立するのに戦略的に有効。

- (2) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

パキスタンは母子保健指標が世界でも最低水準の国の一つであり、新生児死亡率は出生 1,000 件中 39 件（世界平均 17 件）と世界で二番目に高く、乳児死亡率は出生 1,000 件中 53 件（世界平均 28 件）、5 歳児未満死亡率は出生 1,000 件中 63 件（世界平均 38 件）と、全世界に比べて改善が遅れている（UNICEF, 2023 年）。パンジャブ州は同州内の保健指標の地域格差が大きく、国家保健サービス・国家行政・調整省（Ministry of National Health Services, Regulation and Coordination）が実施した県別の調査（2014 年）によると、同州南部はいずれの保健指標においても同州北部と比較して低く、特に乳児死亡率、5 歳未満児死亡率は国家平均・州平均を大きく上回る県が多く存在し、同州南部での母子保健指標の改善は喫緊の課題となっている。かかる状況に関し、パンジャブ州政府は、「パンジャブ州保健セクター戦略（2019-2028）」において、質の高い母子保健サービスへのアクセス向上に向けた、包括的緊急産科ケアを提供するための医療施設のサービス提供体制の強化や、三次医療施設における質の高い患者中心ケアの強化の必要性を掲げている。

一方で、同州の三次医療施設であり、新生児・小児専門病院である「ムルタン小児病院」では、パンジャブ州南部の他、近隣州（バロチスタン州南東部、シンド州北部、ハイバル・パフトウンハー州（以下、「KP 州」という。）南部）を含めた広範囲の重症患者の受入れに加え、新生児・小児診療の最後の砦として、同域内の別の三次医療施設からも患者を紹介・搬送されており、施設の受入可能容量を超える外来・救急・入院患者を受入れている。特に病床や外来・救急受入スペース等が不足し、未熟児等のハイリスク新生児は、集中治療室にてケアを行っているが、既存機材の台数は十分ではなく、1つの保育器に2名の新生児を入れてケアが提供されている他、救急外来には小児患者が溢れ、廊下にベッドが並べられている状況であり、サービスの量・質共に課題がある。また、同病院は災害拠点病院としての機能も果たし、2022年の洪水発生時には他州から延べ約2,300人の患者を同病院で受入れ、同病院関係者を近隣州の被災エリアに直接派遣し、医療キャンプの設置・緊急医療支援等を行った。同国政府の発表した復興支援計画「Resilient, Recovery, Rehabilitation, and Reconstruction framework Pakistan (4RF)」(2023年1月)によると、将来的な災害に備えた保健医療施設の機能強化が求められており、今後も災害拠点病院として同病院が果たす役割は大きく、洪水で被災した新生児・小児に対する医療サービスの質向上を図ることが想定される。

「南パンジャブ地域小児保健医療施設拡充計画」(以下、「本計画」という。)は、パンジャブ州ムルタン県の公的三次医療施設であるムルタン小児病院を対象に、ハイリスク新生児・小児に対する保健医療サービスにかかる診断・治療に必要な施設改修及び医療機材整備を行うことにより、同病院の診断・治療体制の強化、また同州と隣接州に広く裨益する高次小児保健医療サービスの質の向上及び災害拠点病院としての更なる機能強化を図るものであり、同国の保健セクターにおける重要事業と位置付けられる。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容：協力準備調査にて詳細確認する。

ア) 施設、機材等の内容

【施設】新生児集中治療室、集中治療室手術室、検査室、画像診断室、救急病棟等の改修・整備

【機材】超音波診断装置、一般X線撮影装置、保育器、患者監視装置、人工呼吸器、手術関連機材等

イ) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容：

詳細設計、入札補助、施工・調達監理、機材の運営・維持管理に係る研修

② 期待される開発効果

- ・ 新生児・小児を対象とした手術件数(件／年)：約7,000件(基準値)→約9,360件(目標値)
- ・ 新生児を対象としたNICU受入件数(件／年)：約230件(基準値)→約365

件（目標値）

- ・ 対象医療施設におけるハイリスクの新生児・小児への医療サービス提供体制の強化。災害時における災害拠点病院としての被災者への支援サービスの充実。患者満足度の向上等。

③ 計画実施機関／実施体制：パンジャブ州保健局（Health Department, Government of Punjab）

④ 他機関との連携・役割分担：同地域において協力を実施している他援助機関等との重複がないよう留意すると共に、相乗効果の発現を図る。連携・役割分担について詳細は協力準備調査にて確認する。

⑤ 運営／維持管理体制：本計画の運営維持管理は、パンジャブ州保健局及びムルタン小児病院が担う。日常的な機材の管理は同病院が行う想定であるため、同医療関係者の技術レベルに適合した機材を整備すると共に、実施機関の財務状況・運営能力、供与機材の維持管理体制、現地代理店の対応能力等についても確認する。

（２）その他特記事項

- ・ 環境社会配慮カテゴリ分類：C
- ・ ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

（１）同国無償資金協力「イスラマバード小児病院改善計画」（評価年度 2011 年）の事後評価では、機材の維持に必要な技術要員の配置不足や予算不足により重要機材・スペアパーツの適時の更新に問題が生じたことから、維持管理予算の適切かつ持続的な確保のための努力継続が提言されている。本計画では、同国政府による事業計画作成にあたり、各病棟に配置すべき人材数と運営維持管理に必要な予算について確認を行うこととする。

（２）元来のパキスタンにおける激しいインフレや昨今の世界情勢による物価高騰を踏まえ、本計画では可能な限り施設部分のスコープカットを行う方針で調査・検討を行うこととする。

以 上

〔別添資料〕 パキスタン 南パンジャブ地域小児保健医療施設拡充計画 地図

[別添資料] パキスタン 南パンジャブ地域小児保健医療施設拡充計画 地図



出典：United Nations (<https://www.un.org/geospatial/content/south-asia>) より JICA 作成
 免責：本地図上の表記は図示目的であり、いずれの国及び地域における、法的地位、国境線及びその画定、並びに地理上の名称についても、JICA の見解を示すものではありません。

Disclaimer: This map is only for illustrative purposes and does not imply any opinion of JICA on the legal status of any country or territory, the border line of any country or territory or its demarcation, or the geographic names.



出典：Google Maps（地図データ©2023 Google）より JICA 作成